

市町村名		粟国村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	環境美化促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	村内を訪れる観光客の満足度の向上に向けて、観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		33,097	26,410	26,410	38,220	45,516	
			21,271	25,097	23,556	33,329	45,516	
			▲ 11,826	▲ 1,313	▲ 2,854	▲ 4,891	0	
			0	0	0	0	0	
			21,271	25,097	23,556	33,329	45,516	
		B. 執行済額	20,156	18,649	20,342	32,194	37,465	
		うち交付金充当額	16,124	14,918	16,273	25,755	29,971	
		次年度繰越額	0	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	94.8%	74.3%	86.4%	96.6%	82.3%	
	予算の状況の説明	予算執行率が82.3%だった要因として、環境美化作業員として予算計上した18人の会計年度任用職員が、離職者も生じたことから年平均16人となった。これに伴い、不用(8,051千円)が発生した。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	美化・緑化活動の実施 観光地:5箇所 アクセス道路:13路線	目標	観光地:5箇所 (アクセス路線:13路線)	観光地:5箇所 (アクセス路線:13路線)	観光地:5箇所 (アクセス路線:13路線)	観光地:5箇所 (アクセス路線:13路線)		
		実績	観光地:5箇所 アクセス路線:13路線	観光地:5箇所 アクセス路線:13路線	観光地:5箇所 アクセス路線:13路線	観光地:5箇所 アクセス路線:13路線		
達成状況説明	粟国村へ来島する観光客の満足度向上に向けて、観光地5箇所(大正池、ウーグ、東ヤマトウガー、ヤヒジャ、洞寺公園)及びアクセス道路13路線において美化・緑化活動を実施し、目標を達成した。							
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
				(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。		目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
			実績		81%	82%	100%	
進捗状況説明	観光客へ本事業の美化・緑化活動についてアンケートしたところ、「観光スポットについて良かった」との回答が100%となり、目標を達成した。							

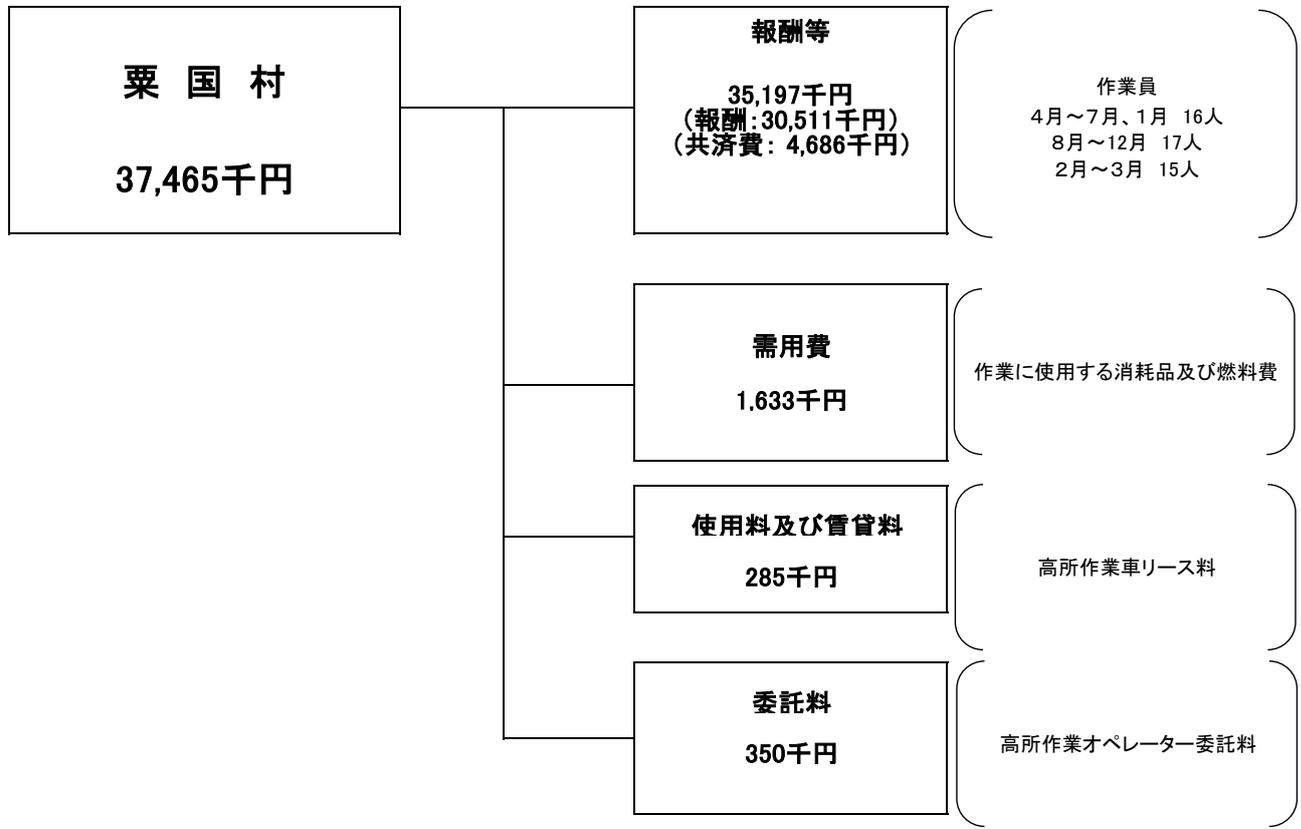
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(アンケート結果について) 新型コロナウイルスの影響から観光客の回復していない。 (作業員の確保) 環境美化職員の確保は問題なくできたが、高所作業を行う際の人材確保が困難であった。 美化・緑化活動の実施は出来たが、速やかに高所作業が可能にする必要がある。 (不用額の縮減) 予定変更の際に発生する作業量の変更内容を調整して、不用額を縮減する必要がある。	(アンケート結果について) 沖縄県により新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が発令され沖縄本島及び沖縄県と他の都道府県との往來の自粛を要請される期間が長かった。 自粛解除及びコロナ収束の周知を進める必要がある。 (作業員の確保) 高所作業の有資格者が村内では確保できないことから、村外の業者に委託する必要がある。 (不用額の縮減) 作業予定の変更が必要になった際に速やかに対応できるよう、代替案を事前に検討する必要がある。

**今後の取り組み方針**

(アンケート結果について)  
観光客が安心して来島するために必要な情報提供を行い、また来島前にPCR検査を受けて安心して観光できるようにする。  
(作業員の確保)  
作業員の募集について確保できるようになったため現状維持に努める。  
高所作業のための人員については有資格者が村内では確保できないことから、高所作業の作業実施に有資格者の配置を条件として村外の業者に委託することで、人材を確保できるようにする。  
(不用額の縮減)  
予定が崩れた際の決断を早め、流用等の対応を早め、適切に処理する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
37,465	37,465	29,971	7,494	0



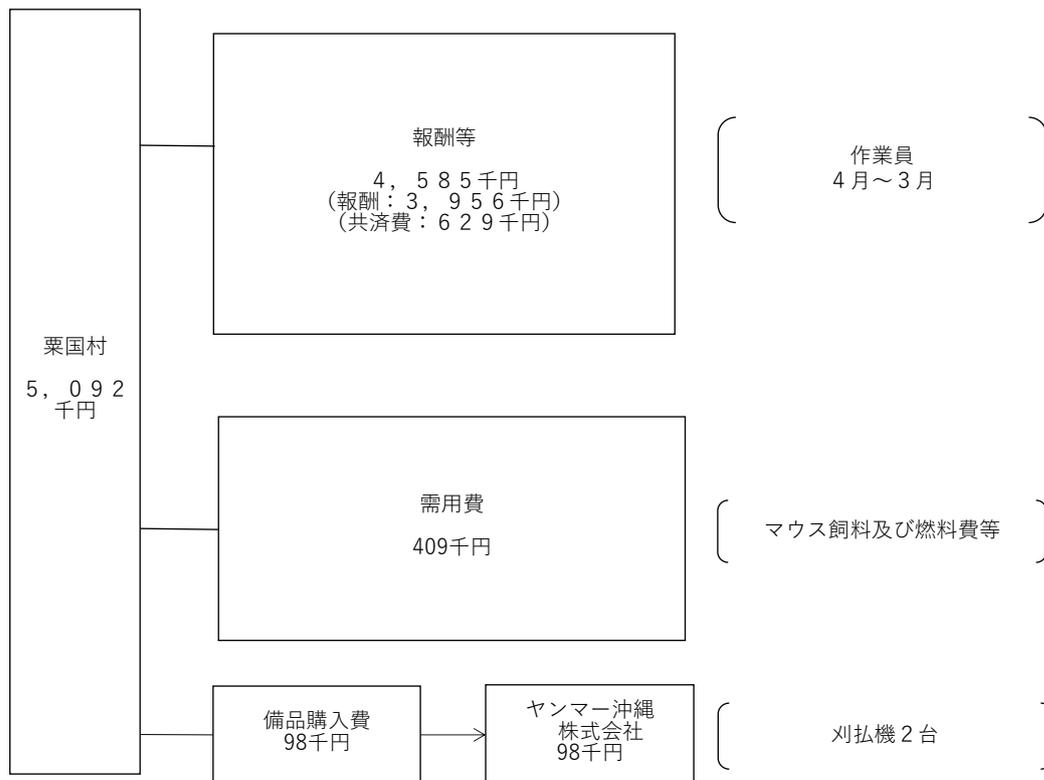
資金の流 れ 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、村の規定に基づき会計年度任用職員として採用していることから妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○会計年度任用職員について、当初見込んだ雇用予定人数が離職等の影響により下回ったことから報酬や共済費の執行残があった。それ以外の予算執行は概ね適切だった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村					
<b>令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>						
事業番号・事業名	1-③	ハブ対策事業				
担当部署名	民生課	事業実施(予定)年度 令和2年～令和3年度				
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-3-(2)-エ				
		沖縄振興基本方針該当箇所 観光客の受入体制の整備				
		Ⅲ-1-(1)				
事業内容	地域住民や観光客の安全確保のため、ハブの捕獲・駆除を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度			
	(a) 当初予算額	5,659	5,291			
	(b) 予算現額	3,107	5,291			
	(c) 増減額(b-a)	▲ 2,552	0			
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	3,107	5,291			
	B. 執行済額	2,743	5,092			
	うち交付金充当額	2,195	4,073			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	88.3%	96.2%			
予算の状況の説明	不用額(199千円)があるが、執行96.2%となっており、概ね達成した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
			R2年度	R3年度		
	捕獲器の設置130台	目標	( 130台 )	( 130台 )	( )	( )
		実績	130台	130台		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハブが捕獲された地域を重点的に捕獲器の設置場所として選定し、予定どおり130台設置できたことから目標を達成した。</li> <li>・作業員2名を募集し、ハブ対策に専任する人員の確保することにより、ハブ咬傷被害がでないよう事業を実施できた。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	目標値(年度)
		目標	( )	( 0件 )	( 0件 )	( )
	ハブ咬傷被害0件	実績		0件	0件	
	進捗状況説明	年間を通じ捕獲器130台を設置し、村内放送や広報誌をとおして注意喚起を行ったこともあり、咬傷被害0件を達成することができた。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業を実施するにあたり2名の専任する人員を確保し、捕獲器の見廻りを行うとともに、ハブ出現地域においてハブが生息しづらい環境整備するため、刈払機を購入し、除草作業を行った。</li> <li>捕獲器130台を設置したことで、令和3年度は令和2年度を大きく上回る59匹のハブが捕獲された。ハブ捕獲器を大量に設置したことが捕獲数の増に繋がっていることから、島内でハブの生息地域を全体的に補足できていない可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>島内でハブの生息地域を全体的に補足できていない可能性があることから、未発見場所について調査を行う必要がある。</li> <li>ハブ出現地域においてハブが生息しづらい環境整備を引き続き行う必要がある。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ハブ未発見場所の調査について、捕獲器を増設し、モニタリング調査を実施する。</li> <li>ハブが生息しづらい環境整備を行うための除草作業を引き続き実施し、安全・安心な観光地の形成を図る。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,092	5,092	4,073	1,019	0



資金の流 点検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、村の規定に基づき会計年度任用職員として採用したことから妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については事業内容に見合った適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		粟国村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	照喜名原地区整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)			
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成27年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立			
事業内容	粟国島を訪れる観光客の受け入れ基盤及び村民の憩いの場を強化するため、「ウーグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。							
効果発現年度	■当年度      ■後年度(令和3年度)							
実施方法	■直接実施    □委託    □補助    □負担    □その他( )							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	156,596			408,489		11,262
		(b) 予算現額	156,769			408,479		10,328
		(c) 増減額(b-a)	173			▲10	0	▲934
		(d) 繰越額			98,449		263,279	0
	A. 計(b+d)		156,769	98,449	408,479	263,279	10,328	
	B. 執行済額		58,320	90,858	145,200	250,199	10,328	
	うち交付金充当額		46,656	72,686	116,160	200,159	8,262	
	次年度繰越額		98,449		263,279		0	
	執行率(%) (B/A)		37.2%	92.3%	35.5%	95.0%	100.0%	
予算の状況の説明		当初計画どおり執行を進めたところ、当初予算と予算現額で入札残により不用(934千円)が生じたが、予算減額対応し、執行率は100%であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	照喜名地区整備工事	目標	( 整備工事实施 )	( 整備工事实施 )	( )	( )		
		実績	整備工事实施	整備工事实施				
	バーベキューコンロ備品、テント備品、清掃用備品、清掃用車両等の購入	目標	( )	( )	( )	( 備品購入 )		
実績					備品購入			
達成状況説明	キャンプ場に必要の備品(バーベキューがコンロ備品、テント備品、清掃用備品、清掃用車両等)を購入し、観光客の利便性の確保を図るための整備が目標どおり完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	照喜名地区整備工事	目標	( )	( 整備工事の完了 )	( )	( )	( )	
		実績		整備工事の完了				
	年間利用者:900人	目標	( )	( )	( )	( 900人 )	( )	
		実績				46人		
観光地としての満足度(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	目標	( )	( )	( )	( 80%以上 )	( )		
	実績				100%			
進捗状況説明	利用者へ施設についてアンケートしたところ、「満足」との回答が100%となり、目標を達成した。年間利用者数については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による来島自粛依頼等の影響により、年間利用者数目標の900人に対し46人の利用者数となり、未達となった。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(整備した備品の適正管理について) 備品の適正管理について徹底する必要がある。	(整備した備品の適正管理について) 現在、備品台帳を作成し管理人にて管理しているが、貸し出し用備品について、破損や盗難等の対応を強化する必要がある。
	(満足度調査について) 観光地としての満足度調査の目標を達成する必要がある。	(満足度調査について) 現在、粟国村の会計年度職員として村内より公募した管理人3人で運営・管理・清掃等を実施しているが、観光客の誘客との有効的な連携が必要である。
	(年間利用者数について) 今年度は新型コロナウイルス感染の影響で年間利用者数目標の900人に対しては5%の利用者数で46人で未達であった。	(年間利用者数について) 新型コロナウイルス感染症拡大中の状況においても集客増加に繋がる、キャンプ場での新たなPR方法等の取組みを検討する必要がある。

**今後の取り組み方針**

(整備した備品の適正管理について)  
レンタル受付時に利用者に誓約書等への必要事項記入を必須とし、身分証明書等の提出を義務づける等、破損・盗難についての管理体制を強化する。

(満足度調査について)  
観光客誘客については粟国村観光協会が専門的に実施している事から、今後、指定管理者制度を活用した連携を検討していく。

(年間利用者数について)  
新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況により集客に苦慮しているが、屋外となるキャンプ場という立地を生かし、密にならない安心・安全で利用できるという環境をPR材料として有効活用し、また、多様な体験メニュー、イベント等を観光協会と連携し考案し、withコロナの新しい観光形態として定着することを目指し広告等に力を入れていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,328	10,328	8,262	2,066	0



資金の流 れ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○物品購入業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	また、車両購入業者は見積り合わせて選定しており、妥当であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模については、減額対応し、執行率は100%であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名		粟国村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②		学力向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会		事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の確保	
事業内容	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,217	11,041	11,041	11,259	12,234
		(b) 予算現額	4,217	11,041	10,169	9,533	10,166
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 872	▲ 1,726	▲ 2,068
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		4,217	11,041	10,169	9,533	10,166
	B. 執行済額		1,896	7,797	8,226	8,123	7,959
	うち交付金充当額		1,516	6,237	6,580	6,498	6,367
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		45.0%	70.6%	80.9%	85.2%	78.3%
予算の状況の説明		当初受講予定の対象児童生徒数に対し、新型コロナウイルス感染症の影響により申込み者数が少なかったため不用額が発生したが、変更契約を行い対応した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	5月から翌年3月まで月80コマの村営塾の実施		目標 (月平均160コマ)	(月平均160コマ)	(月平均80コマ)	(月平均80コマ)	
			実績 平均68コマ	月平均101コマ	月平均70コマ	月平均61コマ	
達成状況説明		村営塾を実施することで学校外での学習環境が整い、児童生徒の学びに対する意欲を向上することができた。新型コロナウイルス感染症対策のための緊急事態宣言・まん延防止措置等により施設使用時間等の短縮が設定された影響により、実績としては月平均60コマとなり目標未達成となった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差		目標 ( )	(小:平均以上 中:5P)	(小:2P以上 中:3P以上)	(小:2P以上 中:3P以上)	( )
	小学校:2ポイント以上 中学校:3ポイント以上		実績	小:+1.3P 中:-5.5P	小:+8.86P 中:+1.38P	小:+1.05P 中:+1.1P	
	進捗状況説明		沖縄県学力到達度調査の正答率について小中学校ともに目標達成までは至らなかったが、県平均を上回ることはできた。 ・小学校平均+1.05ポイント(県との差) (内訳:小5・国語+1.2 小5・算数+1.6 小6・国語+1.6 小6・算数-0.2) ・中学校平均+1.1ポイント(県との差) (内訳:中1・英語+2.5 中1・国語+0.1 中1・数学+4.1 中2・英語+0.6 中2・国語+0.4 中2・数学-1.1)				

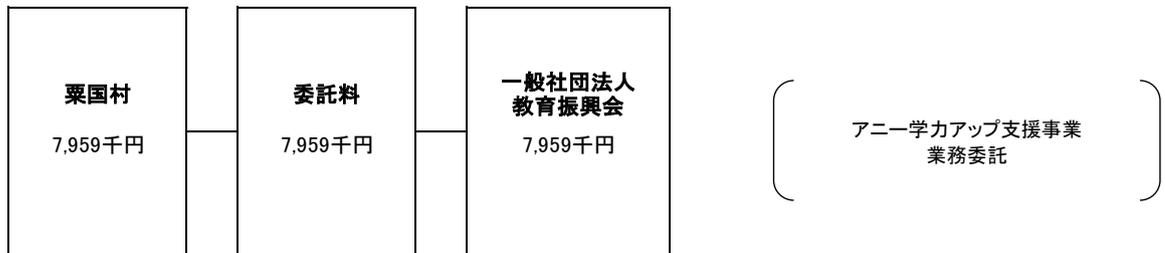
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率アップのための改善策を検討する必要がある。</li> <li>・沖縄県学力到達度調査において県平均値を上回ることはできたが、目標達成までは至らなかった。児童生徒によっては得意、不得意な教科があり、均一的な授業だけでなく全体の底上げを図るさらなる取り組みを検討する必要がある。</li> <li>・家庭での振り返り学習等や授業以外での学習が習慣づけられていないため基礎学力が定着していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率の向上に向けて、塾と小中学校で部活動や学校行事等について日程調整を事前に行う必要がある。また、受講者率を上げるための声かけや案内等を適宜行う必要がある。</li> <li>・児童生徒個々の学力に応じた学習内容を検討し、実施することで、基礎学力を定着させ、更なる充実・推進を図る必要がある。</li> <li>・受講日以外でも宿題等により振り返り学習を実施し、基礎学力定着の向上を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・村営塾の受講者率や出席率向上に向け、学校側、受注者側及び発注者側との情報共有を図り、柔軟な対応を検討する。
- ・基礎学力を強化させるため、これまで培ってきた学習内容等を検証し、工夫・改善を行っていく。
- ・定期テストの結果を基に苦手な科目や分野等を分析し、各々の児童生徒へのきめ細やかな指導を行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,959	7,959	6,367	1,592	0



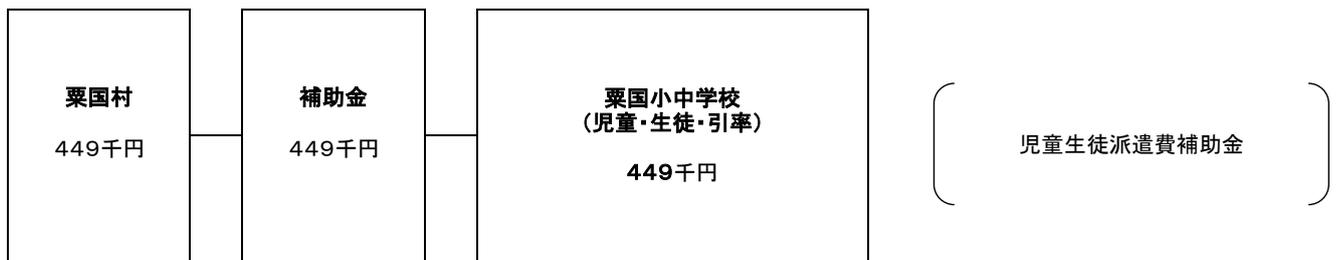
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定されており、妥当であった。 ○変更契約により、事業内容にあった規模に修正した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	児童・生徒派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	5,319	3,626	36,480	5,261	5,225
		(b) 予算現額	3,019	3,626	2,218	544	900
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,300	0	▲ 34,262	▲ 4,717	▲ 4,325
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	3,019	3,626	2,218	544	900
	B. 執行済額		2,228	2,343	2,012	323	449
	うち交付金充当額		1,783	1,874	1,609	258	359
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		73.8%	64.6%	90.7%	59.4%	49.9%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症対策の為、派遣(参加)予定していた大会等が中止になったことにより減額対応したが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が想定を超え、児童生徒を派遣できなかったことから、不用額が発生し、執行率は49.9%となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	児童生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援		目標 ( 支援 )	( 支援 )	( 支援 )	( 支援 )	
		実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症対策のためほとんどの大会開催が中止となり、派遣数が激減となった。 派遣実績 H30年度・・・165名 R1年度・・・156名 R2年度・・・28名(児童・生徒24・引率4) R3年度・・・41名(児童・生徒35・引率6)						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	対象児童生徒保護者に対してアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。		目標 (      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
			実績	97%	100%	92%	
進捗状況説明	対象の児童生徒保護者に対し、アンケートを実施したところ『児童生徒の視野が広がったか』の問いに対し、「とても思う」、「どちらかというと思う」、の回答が合わせて92%の回答となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症対策によりほとんどの大会等が中止となり、前年同様派遣数が激減した。	大会等に参加できなかった場合において、児童生徒が島内では体験不可な経験を積めるよう、派遣内容を検討する必要があり、県や関係団体等と協議を行ったが打開策発見には至らなかった。
今後の取り組み方針		
新型コロナウイルス感染症拡大によって先行きが読めない状況ではあるが、withコロナ時代の新しい大会実施方法について県や関係団体等と引き続き協議を行い、参加できなかった大会等については、児童生徒が十分な経験が積めるよう代替の大会を設定する等、児童生徒の競争や交流機会の確保を引き続き検討していく。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
449	449	359	90	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき、粟国小中学校を通して児童・生徒に間接的に補助する形態であり妥当である。 ○予算規模について、新型コロナウイルスの予想外の影響により、不用額は約60%となった。 ○受益者との負担関係は粟国村児童生徒派遣費補助金交付要綱に基づき妥当であった。 ○費目、用途については粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき、支給していることや派遣費の用途については精算時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

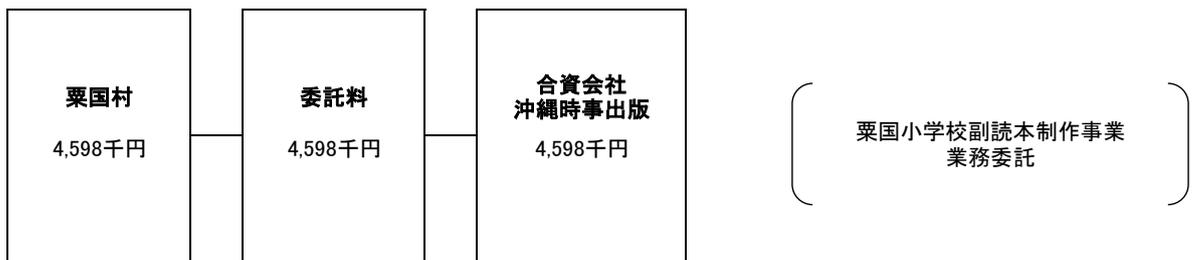
市町村名	粟国村						
<b>令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-④	粟国村小学校3・4年生副読本制作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-イ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の担い手の育成		
事業内容	児童一人ひとりが粟国村の産業・文化等に興味を持ち、副読本の活用により地域社会を学べる環境づくりを確保するために副読本を制作する。						
効果発現年度	■当年度                      ■後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 (    )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	R3年度						
	<b>予算の状況</b>	(a)当初予算額	4,620				
		(b)予算現額	4,620				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A. 計(b+d)	4,620				
	B. 執行済額		4,598				
	うち交付金充当額		3,162				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		99.5%				
予算の状況の説明		当初計画どおり執行を進めたところ、入札残により不用が生じたが、執行率は99.5%であり、適正であった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度				
	3・4年生副読本の制作 作成予定数:200部	目標	( 3・4年生 200冊 )	(                      )	(                      )	(                      )	
		実績	3・4年生 200冊				
達成状況説明	当初の予定どおり、3・4年生副読本200冊を制作することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度		目標値(R4年度)	
	3・4年生副読本の制作 作成予定数:200部	目標	(                      )	( 3・4年生 200冊 )	(                      )	(                      )	
		実績		3・4年生 200冊			
	3・4年生へ副読本を配布した事により保護者へのアンケートにて「粟国村の歴史・文化等への理解が深まった」の回答が80%以上を含め、アンケートにより当該事業のあり方を検討する。	目標	(                      )	(                      )	(                      )	(                      )	( 80%以上 )
		実績					
	進捗状況説明	当初の予定どおり、3・4年生副読本200冊を制作することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和3年度は副読本を制作し、令和4年度より社会科授業での活用予定である。	社会科授業で副読本を活用し、児童一人ひとりが栗国村の産業・文化等に興味を持ち、地域社会を学べる環境づくりを地域と連携し確保する。

今後の取り組み方針
保護者へ「栗国村の歴史・文化等への理解が深まった」等についてアンケートを実施し、栗国村の歴史・文化等への理解が深まった度合いについて検証を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

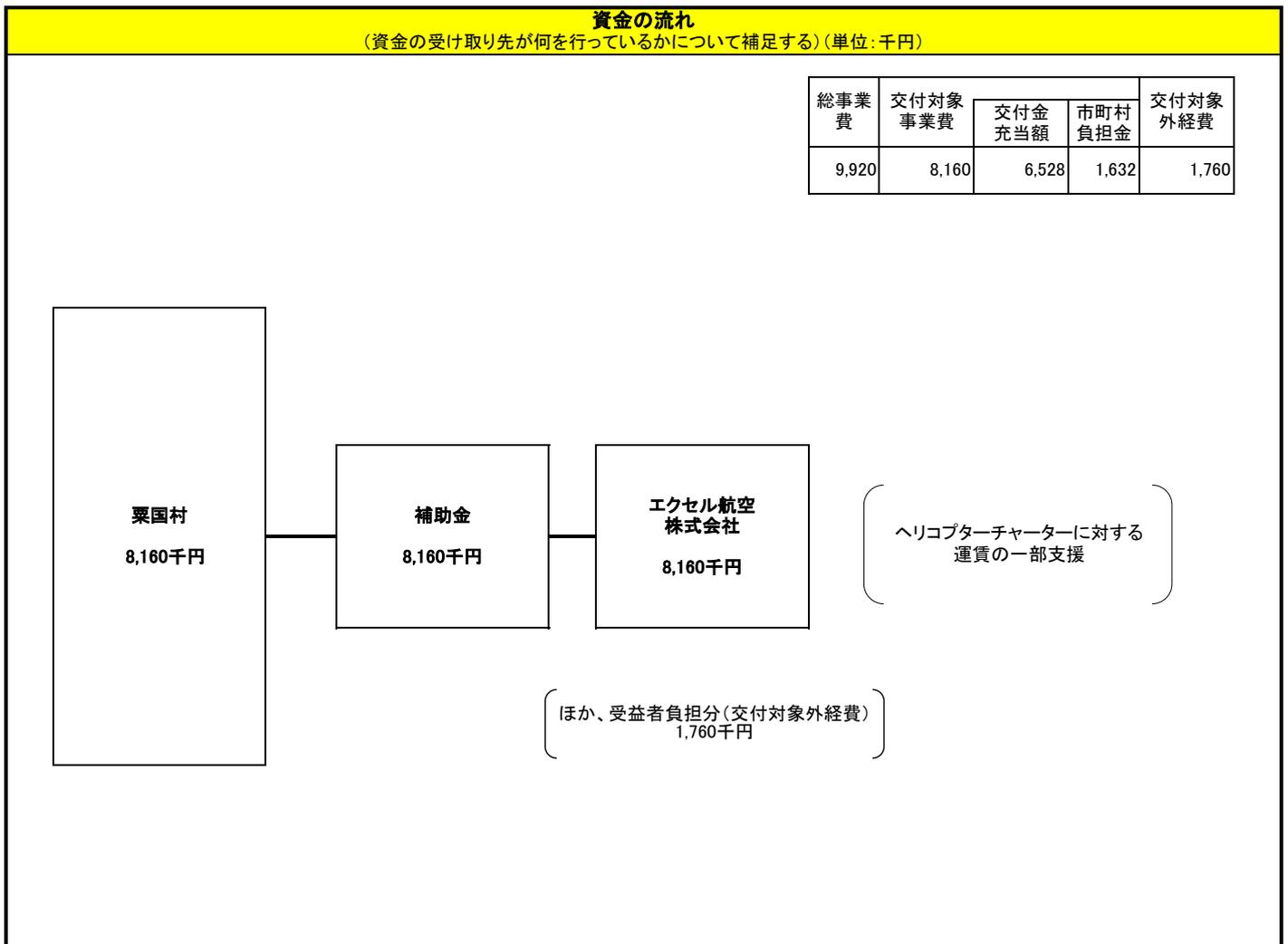
総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,598	3,953	3,162	791	645



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定されており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時に支出等の書類を確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		粟国村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	粟国村交通移動手段安定化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-9-(1)	
事業内容	島民及び来島者の利便性の確保を図るため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	36,480	36,480	36,480	48,900	52,700
		(b) 予算現額	38,720	18,240	18,720	19,000	10,200
		(c) 増減額(b-a)	2,240	▲ 18,240	▲ 17,760	▲ 29,900	▲ 42,500
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	38,720	18,240	18,720	19,000	10,200
	B. 執行済額		38,720	14,960	18,480	19,000	9,920
	うち交付金充当額		30,976	11,968	14,784	12,160	6,528
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	82.0%	98.7%	100.0%	97.3%
予算の状況の説明		令和4年10月25日より、第一航空株式会社の航空便の再開により不用(42,500千円)が生じたが、交付変更により減額対応し、執行率は97.3%であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	航空路線の運航日以外の島民及び来島者のチャーターヘリ利用料金支援		目標 (利用料金を支援)	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	(利用料金を支援)	
			実績 利用料金を支援	利用料金を支援	利用料金を支援	利用料金を支援	
達成状況説明	令和3年4月1日~令和3年7月19日の期間における計96フライト(利用者300人)に対するチャーターヘリ利用料金の支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。		目標 ( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
			実績	97%	98%	96%	
	進捗状況説明	令和3年4月1日から令和3年7月19日の期間、ヘリタクシー利用者へアンケートしたところ、「運賃補助を行うことで、利便性が確保されている」との回答が96%となり目標を達成したが、航空機の再開により停止した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アンケート集計の結果、コロナワクチン接種の為に使用されており、ビジネス・観光以外にも高い利便性を確保できていると考える。また、村営定期船欠航時の代替えがある事、時間の短縮など交通移動手段として補完的かつ安定的な役割を果たしていることも目標値達成の要因と考えられる。	利便性の確保について、目標の数値を達成しており、また、R1年度より現状の取組で96~98%と高い実績値を維持しており、改善の必要はないものと考えられる。また、本事業は航空機の再開によりR3年度7月19日より停止している。
<b>今後の取り組み方針</b>		
令和3年7月19日より航空便の再開によりチャーターヘリ利用補助を停止している。		



資金の 用途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、ヘリ運航事業者はエクセル航空株式会社のみが参入しているので妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当初の想定を大きく下回ったが減額対応し、不用額が発生していないことから、事業内容に見合った適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は1フライトにつき8割補助、2割受益者負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

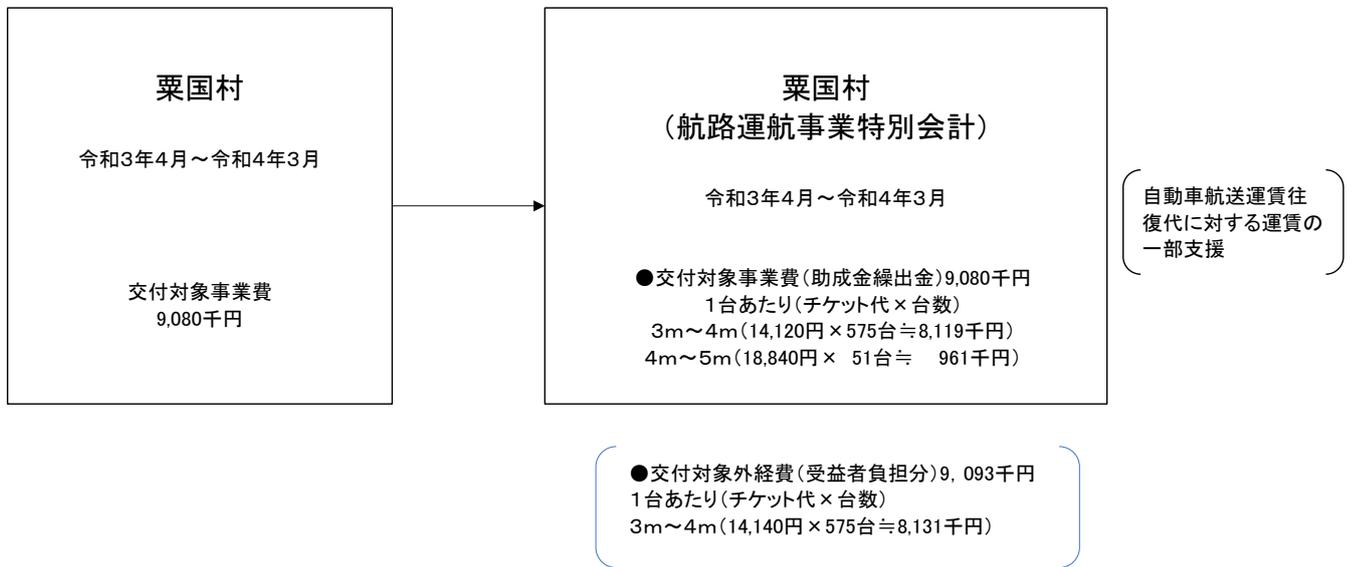
市町村名	粟国村					
<b>令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>						
事業番号・事業名	3-②	粟国村自動車航送運賃低減化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部課名	船舶課	事業実施(予定)年度	令和2年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減 Ⅲ-9	
事業内容	離島の不利性を解消し定住環境の改善を図るため、住民生活を圧迫する要因となっている粟国・那覇間の自動車航送運賃を軽減する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	R2年度	R3年度			
		35,234	11,391			
		5,301	9,080			
		▲ 29,933	▲ 2,311			
		0	0			
	B. 執行済額	3,441	9,080			
	うち交付金充当額	2,752	7,263			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	64.9%	100.0%			
	予算の状況の説明	当初は過去実績を元に利用台数を設定していたが、新型コロナウイルス感染症対策による渡航自粛等の影響により利用実績が想定を下回り、当初予算と予算現額で不用(2,311千円)が生じ、減額対応した。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R3活動目標(指標)	達成状況				
	自動車航送運賃の低減	目標	( 負担の軽減 )	( 負担の軽減 )		
		実績	負担の軽減	負担の軽減		
達成状況説明	沖縄本島との交通手段であるフェリーにおいて、往復車両航送運賃の助成を行ったことで、本島への移動しやすい環境を構築でき定住条件の向上・村民の渡航における負担軽減に寄与できた。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		94%	87%	
進捗状況説明	利用者及び村民を対象にアンケートを実施し、87%が肯定的な意見となっていたため、目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	船舶の利用者が増えたことで、旅客・車両の発券に時間を要し、受付が混む場合がある。	事前の申請受付を行ったり、早めの乗船手続きを行っていただけるように、村広報誌等で周知を行う。

今後の取り組み方針
車両の予約確認や運営体制を強化し、粟国港と泊港にて情報を共有することで、スムーズかつ安全安心な車両の乗船が可能となるように取り組んでいく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
18,173	9,080	7,263	1,817	9,093



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○船舶航路事業特別会計において、自動車航送券の発券及び集計をしており、支払先は妥当だと考えられる。 ○予算規模については減額補正があったものの妥当と考える。 ○約5割を受益者が負担していることから妥当だと考える。 ○費用・用途について、確定時において支出等に関する書類により確認し適当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		粟国村				
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-③	子育て支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	令和2年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9	
事業内容	子育て世代含む島外への人口流出による人口減少を抑える為、子育て世代が安心安全に利用できる児童公園の遊園整備を行う。					
効果発現年度	■当年度      ■後年度(令和4年度)					
実施方法	■直接実施    □委託    □補助    □負担    □その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	9,990	63,800		
		(b)予算現額	7,920	77,033		
		(c)増減額(b-a)	▲2,070	13,233		
		(d)繰越額	0	0		
		A.計(b+d)	7,920	77,033		
	B.執行済額		7,920	77,000		
	うち交付金充当額		6,336	61,600		
	次年度繰越額		0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		工事実施にあたり協議を行った結果、実施工種に増が生じたため、予算増額で対応し、執行率は100%であった。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
	粟国村子育て支援施設整備基本計画の策定	目標	( 策定 )	( )		
		実績	策定			
	粟国村子育て支援施設整備実施設計の完了	目標	( 実施設計完了 )	( )		
		実績	実施設計完了			
	新設公園整備工事:1カ所	目標	( )	( 公園整備工事 )		
		実績		公園整備工事完了		
既存公園遊具更新整備工事:1カ所	目標	( )	( 遊具更新整備工事 )			
	実績		遊具更新整備工事完了			
説達明況成	新設公園整備工事1カ所ならびに既存公園遊具更新整備工事1カ所の工事が完了し、目標を達成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	粟国村子育て支援施設整備基本計画の策定	目標	( )	( 策定 )	( )	( )
		実績		策定		
	粟国村子育て支援施設整備実施設計の完了	目標	( )	( 実施設計完了 )	( )	( )
		実績		実施設計完了		
	新設公園整備工事完了:1カ所	目標	( )	( )	( 公園整備工事 )	( )
		実績			公園整備工事完了	
	既存公園遊具更新整備工事完了:1カ所	目標	( )	( )	( 遊具更新整備工事 )	( )
実績				遊具更新整備工事完了		
【参考指標】 子育て支援の充実的な整備が行われたか(80%以上)を含め、保育園・幼稚園・小学生生徒の保護者等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( )	( )	( 80%以上 )	
説達明況抄	新設公園整備工事1カ所ならびに既存公園遊具更新整備工事1カ所の工事が完了し、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>工事情形管理については、新型コロナウイルス感染症の影響により若干の延長が発生したが、改定契約により対応し、全ての工程について年度内に完了した。公園の管理体制については、内部調整の段階にある。</p>	<p>令和4年度の共用開始に向け、具体的な管理体制の確保等を検討し、適切に管理していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>適切な管理体制のもと共用を開始し、清掃等を含め、施設の維持管理を確保し、子育て支援の充実的な整備が行われたかを含め、アンケート調査を行い、当該事業のあり方について検証する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77,000</td> <td>77,000</td> <td>61,600</td> <td>15,400</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	77,000	77,000	61,600	15,400	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
77,000	77,000	61,600	15,400	0										
<pre> graph LR     A[粟国村 77,000千円] --&gt; B[工事請負費 77,000千円]     B --&gt; C[株式会社丸内 77,000千円]     subgraph Project [ ]         C     end </pre>														
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明											
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○施工工事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はなく適切な予算規模であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。											
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		粟国村				
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-④	粟国村慰霊碑周辺環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	令和2年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9	
事業内容	高齢者や地域住民が安心安全に集えるよう、慰霊碑周辺の整備を行う。					
効果発現年度	■当年度      ■後年度(令和4年度)					
実施方法	■直接実施    ■委託    □補助    □負担    □その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度			
	(a)当初予算額	13,453	27,255			
	(b)予算現額	8,690	53,823			
	(c)増減額(b-a)	▲4,763	26,568			
	(d)繰越額	0	0			
	A.計(b+d)	8,690	53,823			
	B.執行済額	8,690	53,499			
	うち交付金充当額	6,952	42,798			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.4%			
予算の状況の説明	工事実施にあたり協議を行った結果、実施工種に増が生じたため、予算増額で対応し、執行率は99%であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
			R2年度	R3年度		
	粟国村慰霊碑周辺環境整備計画の策定	目標	( 策定 )	( )	( )	
		実績	策定			
	粟国村慰霊碑移設整備実施設計の策定	目標	( 実施設計完了 )	( )	( )	
	実績	実施設計完了				
粟国村慰霊碑周辺環境整備工事	目標	( 整備工事 )	( )	( )		
	実績		整備工事完了			
説状達成	粟国村慰霊碑周辺環境整備工事が完了し、目標を達成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	粟国村慰霊碑周辺環境整備計画の策定	目標	( )	( 策定 )	( )	( )
		実績		策定		
	粟国村慰霊碑移設整備実施設計の策定	目標	( )	( 実施設計完了 )	( )	( )
		実績		実施設計完了		
	粟国村慰霊碑周辺環境整備工事	目標	( )	( )	( 完了 )	( )
		実績			完了	
	【参考指標】 「効果的な平和学習の促進が実施可能な環境整備がなされた」(80%以上)を含め、小中学校へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( )	( )	( 80%以上 )
		実績				
	【参考指標】 「世代間のコミュニケーションの活性化が実施可能な環境整備がなされた」(80%以上)を含め、慰霊祭出席者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( )	( )	( 80%以上 )
実績						
説状進捗	粟国村慰霊碑周辺環境整備工事が完了し、目標を達成した。					

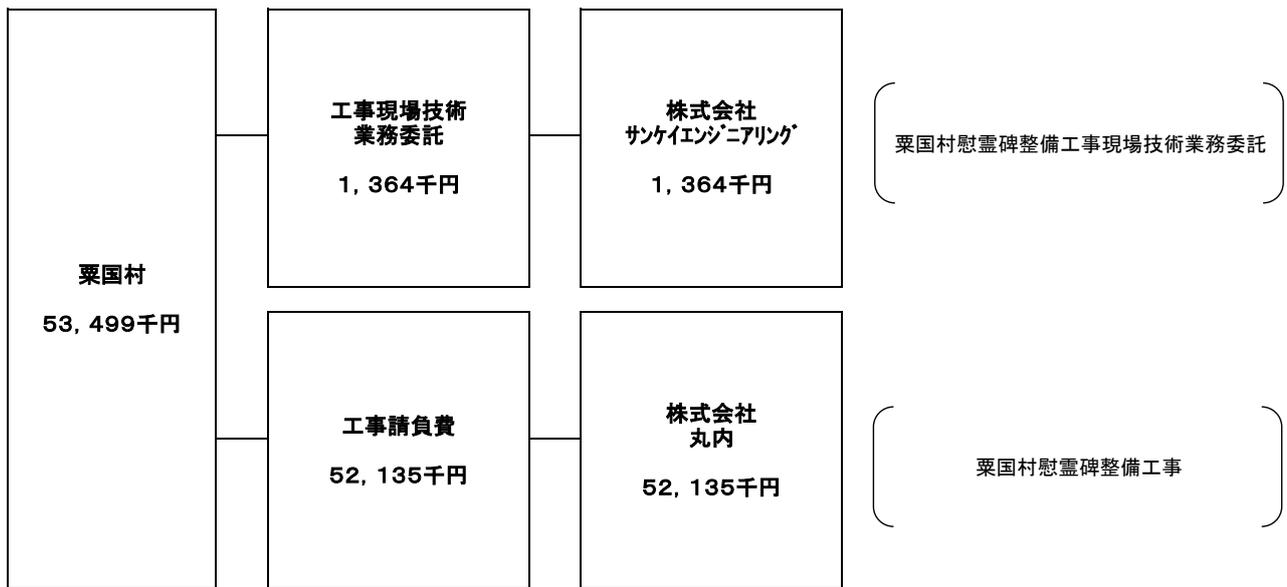
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	事行程管理については、新型コロナウイルス感染症の影響により若干の延長が発生したが、改定契約により対応し、全ての工程について年度内に完了した。施設の管理体制については、内部調整の段階にある。	令和4年度の共用開始に向け、具体的な管理体制の確保等を検討し、適切に管理していく。

**今後の取り組み方針**

適切な管理体制のもと共用を開始し、清掃等を含め、施設の維持管理を確保し、平和学習の促進、世代間のコミュニケーションの活性化が図られたかを含め、アンケート調査を行い、当該事業のあり方について検証する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

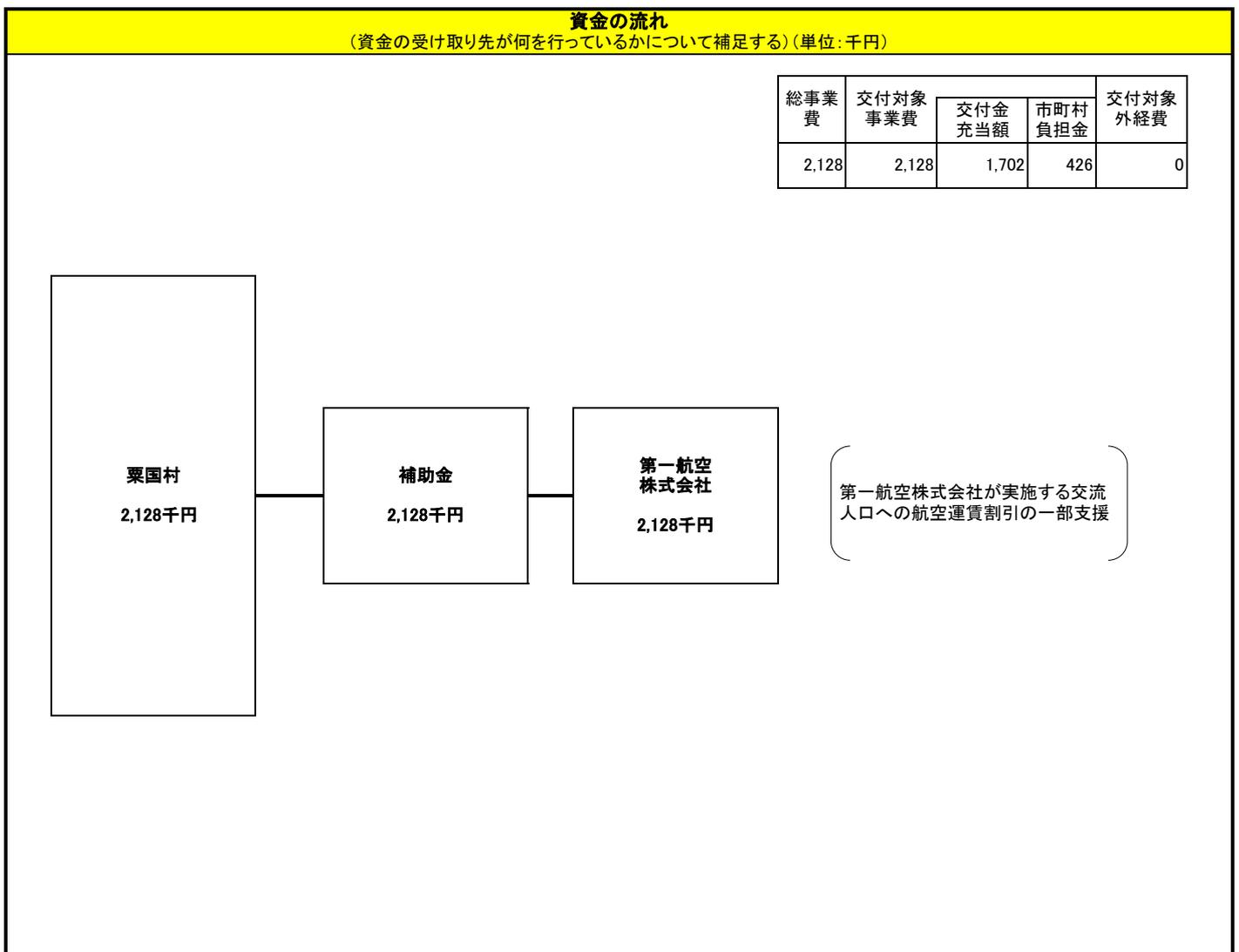
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
53,499	53,499	42,798	10,701	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○施工工事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○不用額は少額で適切な予算規模であった。 ○費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑤	粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ			
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	粟国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補助する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和 年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>	R3年度						
		(a) 当初予算額	6,710					
		(b) 予算現額	2,956					
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,754					
		(d) 繰越額	0					
	A. 計(b+d)		2,956					
	B. 執行済額		2,128					
	うち交付金充当額		1,702					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		72.0%					
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症の影響により利用実績が想定を下回り、当初から変更により減額対応(3,754千円)したが、乗客数が伸びず執行率72%となった。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R3活動目標(指標)		達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施 ※交流人口とは、島民以外の人で粟国村を訪れる人のことをしめし、レジャー目的旅行者の他、ビジネス客等を含む。		目標	( 航空運賃の補助 ) ( )	( )	( )	( )	
		実績	航空運賃の補助					
達成状況説明	令和3年10月25日～令和4年3月23日の期間に、合計357人の航空運賃の補助を実施した。							
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
			目標	( )	( 2,900人 )	( )	( )	( )
	粟国村への観光入域者数		実績		980人			
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響での活動自粛により来島者が減となり、目標を達成することができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>新型コロナウイルスの影響での活動自粛により粟国村への入域者数が減となり、目標を達成することができなかった。 また、航空機稼働後の10月からの観光入域者数はR2年度に対し45%の増加をしている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が拡大する前のH31年度(R元年度)と比較したところ、R3年度実績値は1,640人の減となっており、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなれば目標値を達成できる可能性があるため、本事業を継続し新型コロナウイルス感染症の鎮静化に備える。 また、今後の鎮静化による交流人口の増加のタイミングに備え宣伝等を強化し利用促進のためにと取り組みを強化する。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>粟国村那覇船舶窓口や粟国村内民宿に飛行機使用についての告知パンフレット等を設置、また、粟国村HP等の各情報媒体および広報誌等にて定期的な宣伝等を実施し、飛行機の利用促進を行う。</p>		



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については粟国村と沖縄本島を結ぶ航空会社は1社であり、かつ、費用負担の協定書を締結しており、選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルス等の影響により搭乗者数が伸びず不用が生じたが、予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、事業目的の観点から清算時に精査しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村						
<b>令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4-①	集出荷場施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ		
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化		
事業内容	栗国村の特産品である農作物の円滑な出荷を可能にするため、集出荷場の機能強化を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	R3年度						
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	23,407				
		(b) 予算現額	23,407				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	23,407				
	B. 執行済額		22,550				
	うち交付金充当額		18,040				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		96.3%				
予算の状況の説明		当初23,407千円を予算としていたが、入札残により857千円不用となり、執行率は96.3%となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R3活動目標(指標)		達成状況				
	「もちきび」選別機械の撤去、新しい機械の導入	目標	選別機械の撤去、新しい機械の導入	( )	( )	( )	
		実績	選別機械の撤去、新しい機械の導入				
	「もちきび」の集出荷場に従事する新しい担い手確保	目標	( 1名 )	( )	( )	( )	
		実績	1名				
達成状況説明	集出荷場の自動化を進めるための整備事業は完了し、導入した備品(計量包装机、プリンター、エージレス投入機、脱気装置、コンプレッサー及びオプション)の稼働確認も完了。また、令和4年度の集出荷場に従事する担い手1名も確保し、目標を達成した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度		目標値(R4年度)	
	「もちきび」選別機械の撤去、新しい機械の導入	目標	( )	選別機械の撤去、新しい機械の導入	( )	( )	( )
		実績		選別機械の撤去、新しい機械の導入			
	「もちきび」の集出荷場に従事する新しい担い手の確保	目標	( )	( 1名 )	( )	( )	( )
		実績		1名			
	【参考指標】 一年の従事時間の従事時間 50%減	目標	( )	( 1名 )	( )	( )	( 50%減 )
		実績		1名			
進捗状況説明	「もちきび」選別機械の撤去、新しい機械の導入、「もちきび」の集出荷場に従事する担い手の確保が完了し、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	(機械の撤去及び導入) 必要なものが過不足なく期日までに完了。 動作確認も行い、運用に問題ないことも期日までに確認済み。 したがって機械の撤去及び導入に関しては課題がないと判断します。  (作業員の確保) 令和4年度に集出荷場の稼働期間で働く作業員の確保は完了。 したがって作業員の確保の課題はないと判断します。	(機械の撤去及び導入) 機械の撤去については新たな機械を導入する業者に処理も依頼することでコスト削減となっており、改善の必要はないものと考えられる。  (作業員の確保) 作業員の確保については事前に次年度集出荷場で働くことの同意を得るという形で対応しており、改善の必要はないものと考えられる。

**今後の取り組み方針**

(機械の撤去及び導入)  
 導入までは完了したため、今後必要となるのは運用中に異常が確認できた際に業者に報告し、対応することである。  
 (作業員の確保)  
 作業員は確保しているため、今後必要となるのは確保した作業員が勤務できなくなった際の対応である。  
 (作業時間の効率化)  
 今までは2名体制であったことから農畜産物集出荷貯蔵施設の機械従事時間を2名×7.5時間×83日(令和4年5月～8月中の平日日数)=1,245時間を基準とし、令和4年度は50%削減の622.5時間を目標値として設定し、作業時間の削減を図る。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
22,550	22,550	18,040	4,510	0



資金の流 れ、費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者の選定は一般競争入札で剪定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	